

福祉施設における相談員 & ケアマネジャー業務と役割分担

《新潟会場 グループ討議レジュメ》

入所系グループ 相談員 1 名、ケアマネ 1 名、介護職 1 名、管理者 1 名

【検討課題】

相談員とケアマネジャーの役割分担は、各施設で決めていくのですが、施設内での組織上の役割分担を明確にしていくことが難しい。

【検討内容】

- * 他の施設との情報交換を積極的に行なっていく必要があるのではないか。
- * 相談員とケアマネの役割分担もグレー（曖昧）な部分が多いですが、施設内での役割分担も明確にして、理解し合う必要があるのではないかという意見がありました。

入所系グループ 相談員 2 名、ケアマネ 1 名、事務 1 名、

【検討課題】

ケアマネ、ソーシャルワーカーがそれぞれ家族とどの様に関わりを持っていけば良いか？

【検討内容】

- * ケアマネの役割、ソーシャルワーカーの役割（施設内での）を両者で話し合う。
- * どうしてもグレーな部分があるので、そのケースで誰がいつ、どのタイミングで家族に話すのかにもよると思う。それぞれのケースごとに誰が話すのかを確認し合いながら、行なっていけば良いと思う。役割を分けてしまうのではなく、都度、職種間の役割の確認をしっかりと行なう。

入所系グループ 相談員 2 名、ケアマネ 1 名、その他 1 名、

【検討課題】

* 役割分担に関しては、グレーの部分があります。それについてどの様に取り組めば良いのか？

* 生活相談員を経由して家族に情報を伝えるより、現場の方が直接伝えることができるのではないかというジレンマを生じる時がある

【検討内容】

* それぞれの役割を分けていくのではなく、生活相談員、ケアマネ、介護職、医務等多職種が役割を互いに認識して、外部との情報や利用者の状態像等の内部の情報を共有しながら取り組むことが大切である。

入所系グループ 相談員 1 名、ケアマネ 1 名、介護相談兼務 2 名、

【検討課題】

SWと家族との繋がりが強いため、CM介入のタイミングに難しさを感じる

【検討内容】

SWがインテークから家族との関わっている為、家族との関係性ができている

【考察】

同じ領域にある場合には、情報の共有から連携が必要ではないか

入所系グループ 相談員 3 名、ケアマネ 1 名、

【検討課題】

相談員、ケアマネの役割分担がハッキリした方が良いところはどこか？

【検討内容】

* 苦情・入所前面談・在宅調整・本人家族との関わりの区別をどの様に付けるのか

* SWが主でCMは兼務なので中心はSWが動いている。CMはプランを作るが情報はSWが集める

【考察】

互いの情報の共有と問題解決ができることを優先する

入所系グループ 相談員 3 名、ケアマネ 1 名

【検討課題】

現場と相談員の業務の役割分担について

【検討内容】

* 介護の管理的立場（リーダー等）との連携を図り、やや現場から離れて業務をサポートしていくと良いのではないかと。

* 業務内容を書き出して整理する。その中でも手を引いていく部分と、時間をかけていく部分を具体的に明文化する

* 利用者だけでなく、家族の要望等も現場に伝えていく役割ある

入所系グループ 相談員 5 名

【検討課題】

在宅ケアマネとの連携について

【検討内容】

* 利用開始時のモニタリングやケアプランを施設ケアマネか相談員のどちらが連絡を取るのか？事前面接は、施設ケアマネが相談員と一緒にいくケースとその利用者の状況によって相談員だけがいくケースがある。基本的には、相談員が行なうのではないかと。必要に応じて声をかけ合いながら行なっていくと良いのではないかと。

入所系グループ 相談員 5名

【検討課題】

事故対応について

【検討内容】

* 事故後の第一報は誰が行なうのか？

基本的に関わっている介護が行なうが、誤薬などは看護師が行なう事もある。窓口を統一（一元化）するため、相談員が必ず行なう。夜中であっても家族・相談員にも一報を入れ、翌朝、相談員が対応を引き継ぐ

* 転倒事故の場合

必ず看護師と相談員が受診に付き添う。その時の状況によって対応できるスタッフが付き添う。

入所系グループ 相談員 4名

【検討課題】

現場職員に相談員の役割を理解してもらうにはどうしたらよいか？

【現場職員に各利用者のCMを把握して貰う。

現場と相談員の情報量が違う。

現場の判断で介護をしないように話しをしている

各ポジションで業務内容を挙げてもらい話し合いをした